

銀行業務のご案内

概要

当行は、2015年11月1日にシティバンク銀行のリテールバンク事業を統合し、「PRESTIA (プレスティア)」として展開しております。また、富裕層のお客さま向けに、信託機能などを活用したテーラーメイド型のトータル・ソリューションをご提供するプライベートバンキングサービスを展開しております。

★PRESTIA

- 国内屈指の外貨・海外決済サービスを提供
- お預入れの残高に応じた各種優遇プログラムを提供
- 外国人向けサービスを提供
- 海外出張、赴任者向けグローバルソリューション

★プライベートバンキング

- お客さまの生涯のパートナーとなるべく、信託機能を活用した各種ソリューションを提供
- お持ちの資産を担保にした各種融資ソリューションも提供

強み

★PRESTIA

- 豊富な外貨関連サービス
 - ・ GLOBAL PASS (多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード)
～世界200以上の国と地域のATMで現地通貨が引出せるキャッシュカードにデビット支払機能付帯
 - ・ 外貨建商品ラインナップ
～17通貨の外貨預金をはじめとした外貨建ポートフォリオ提案
- 幅広いチャネル展開
 - ・ 24時間365日稼働のコールセンター、プレスティアオンライン・モバイル、アプリ
 - ・ 来店不要のオンライン面談サービス (Webex、ベルフェイス)
※ベルフェイスはコールセンターおよび一部支店に限定
- 次世代へ託し、受け継ぐための相続・承継サービス
- 多様なニーズにお応えする各種ローン
～最大5億円までお借入れ可能な住宅ローンや不動産投資ローン、セカンドハウスローンなど

★プライベートバンキング

- 専属のプライベートバンカー
～お客さまと長期にわたる、揺るぎない信頼関係を構築
- 金融資産だけでなく、お客さまの不動産等を含めた総資産に対するソリューションを提供
- グループ各社 (三井住友銀行、SMBC日興証券) と連携した各種ソリューションを提供



ご提供サービスとその特徴

SMBC信託銀行アプリ

2021年10月、iOS、Android版でのスマートフォンアプリをリリースいたしました。残高・取引確認に加えて、外貨取引・投資信託もお取引可能です。また、生体認証にも対応しており、簡単・安全にご利用いただけます。



来店不要のオンライン相談

お客様のスマートフォンやパソコンと当行の専任コンサルタントをオンラインでつなぎ、対面と変わらないコンサルテーションをご提供しております。



プレミアム・キャリー戦略ファンド

米国債をはじめ、各国国債や投資適格債の利回りは低下し、低金利環境が続いている昨今、十分な利回りが確保できず、インカム運用にとっては難しい投資環境が続いています。

本ファンドは実質的にオプション取引、中でもS&P500指数を原資産とした期間約1ヶ月のプット・オプションを売却する運用戦略を主要投資対象とし、その投資成果を享受することを目指すことで、安定的なインカム収入の獲得を目指します。



高品質なコールセンター

プレスティアホン バンキングを運営するコールセンターは、世界最大のサポートサービス業界のメンバーシップ団体HDIの日本拠点HDI-Japanが主催する「HDI格付けベンチマーク」の『Webサポート』『問合せ窓口（電話）』『クオリティ（電話）』格付けにおいて、銀行業界で最高水準の評価を継続して獲得しております。

2021年3月には『COPC[®] CX規格CSP6.2版』を取得するなど、高い外部評価を得ています。



信託業務のご案内

概要

- 資産運用
- 資産承継・事業承継
- 資産管理・保全
- 資産売買

強み

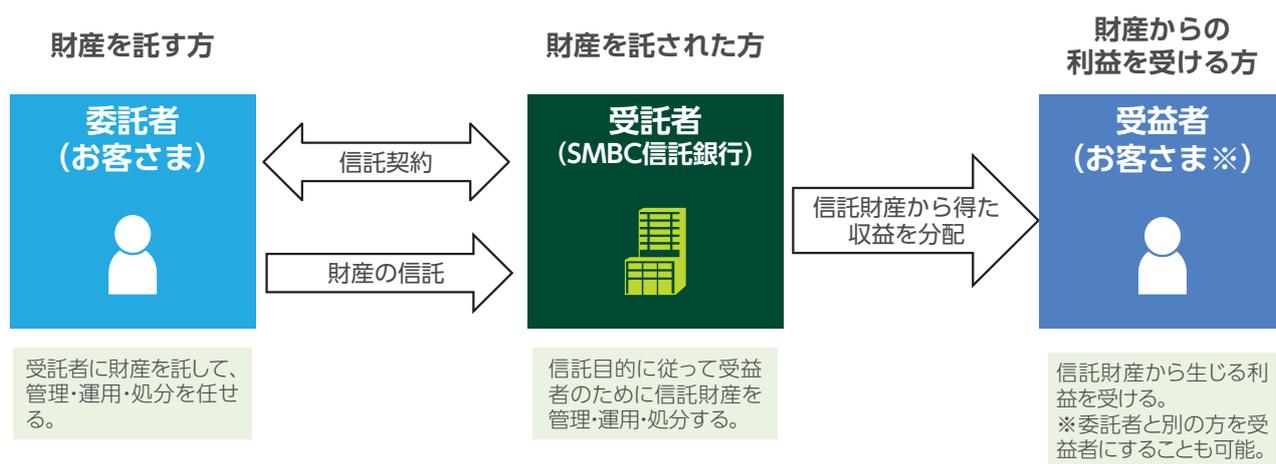
- お客様の投資ニーズにお応えする資産運用ソリューションの提供
～合同運用指定金銭信託、DPM・MAPS、私募投資信託
- お客様の資産承継ニーズに対応
～遺言代用信託、受益者連続信託
- お客様の多様な資産管理・保全ニーズに対応
～有価証券管理信託、有価証券取得信託、有価証券処分信託、美術品信託



信託とは

「信託」とは、金融や不動産などの財産を有するものが、委託者としてその財産（信託財産）を信頼できる受託者に管理させるために結ぶ契約で、どのように運用・管理をして誰に得られた果実（収益）を渡すかを合意します。

受託者は、その合意に基づいて受託者の名義で財産を管理し、財産から生じる収益は合意に基づいて分配されます。財産を信託すると受益権が交付され、受益権を持つ人が財産の収益を得るので、実質的に財産を所有することになります。仮に、受託者が倒産しても、信託財産は保護されますので、差し押さえなどの影響を回避することが可能となります。そのため、倒産隔離のための仕組みとして利用されることがあります。



ご提供サービスとその特徴

合同運用指定金銭信託

個人・法人

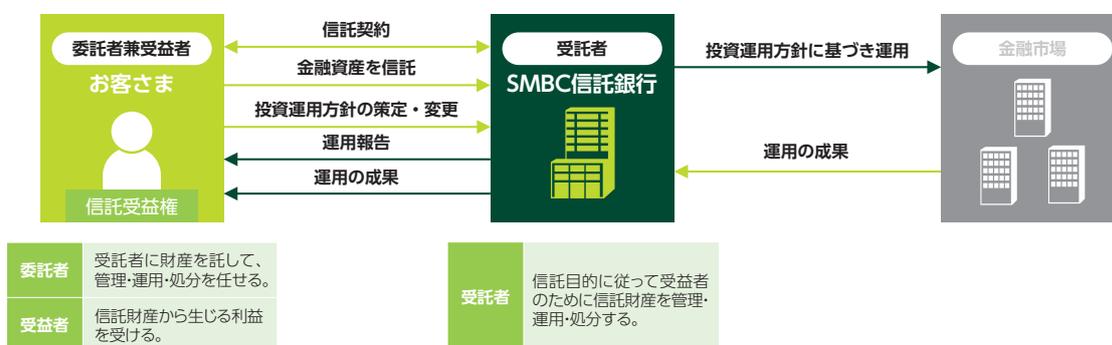
「安全性・安定性に配慮しつつ、運用経験のないお客さまにも安心して資金をお預けいただける」ことをコンセプトとした円建の運用商品です。お預かりする資金を一つにまとめることで、より大きく安定的な運用を目指します。満期時には償還する元本とともに収益金としての配当を受け取ることが可能です。

単独運用指定信託

個人・法人

・DPM (Discretionary Portfolio Management)

お客さまからご指定いただいた信託財産の投資運用方針の指定書に基づいて、SMBC信託銀行のファンドマネージャーが、お客さま専用の信託口座において信託財産の運用・管理を行う信託商品です。お客さまごとに信託財産を運用するため、お客さま固有のニーズに沿ったポートフォリオ運用サービスを提供いたします。



私募投資信託

個人

主に欧米大手運用会社が運用するオルタナティブファンドを投資対象とする私募投資信託を個人富裕層のお客さまに提供しております。伝統的な株式・債券のみの資産配分にオルタナティブファンドを追加することで、運用効率が改善することが期待されます。

単独運用指定金銭信託／単独運用指定金外信託(ファンドトラスト)

法人

お客さまの投資方針・指定アセットクラスに基づき、SMBC信託銀行の裁量でお客さまの運用ニーズにあったファンドを選定し、投資を実行・管理します。SMBCグループの広範なネットワークを活用しつつ、オルタナティブファンドへの投資実現をお手伝いいたします。契約形態は金銭信託、金外信託からご選択いただけます。

遺言代用信託／受益者連続信託

個人

遺言では実現しきれないお客さまのさまざまな資産承継・事業承継ニーズに対し、最適なソリューションをご提供することにより、円滑な資産や事業の承継をサポートいたします。

美術品信託

個人・法人

当行では、お客さまの美術品にかかる承継ニーズに対するソリューションを提供しております。信託財産である美術品は、当行が契約している寺田倉庫株式会社に保管いたします。なお、美術品の運搬などは、当行提携先であるTERRADA ART ASSIST 株式会社^(*)へのお引き合わせが可能です。

(*) 寺田倉庫株式会社のグループ会社

不動産業務のご案内

概要

- 仲介業務
- コンサルティング業務
- 受託業務
- アセットマネジメント業務
- 鑑定業務

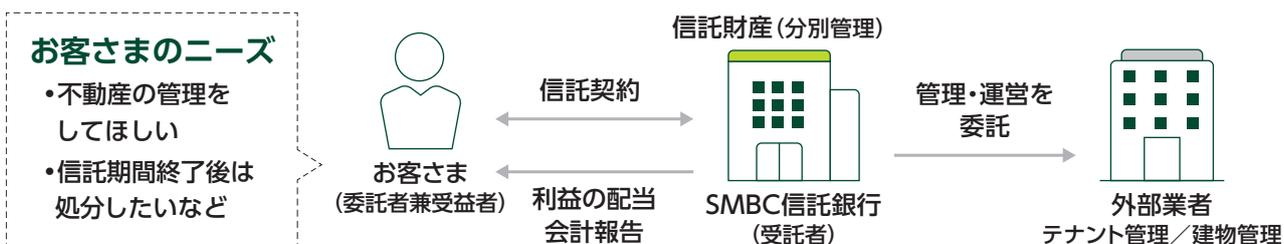
強み

● 大企業や国内外の投資家、富裕層などのお客さまの不動産関連取引ニーズに対し、仲介業務、受託業務、アセットマネジメント(AM)業務などさまざまなサービスの提供が可能です。



受託業務

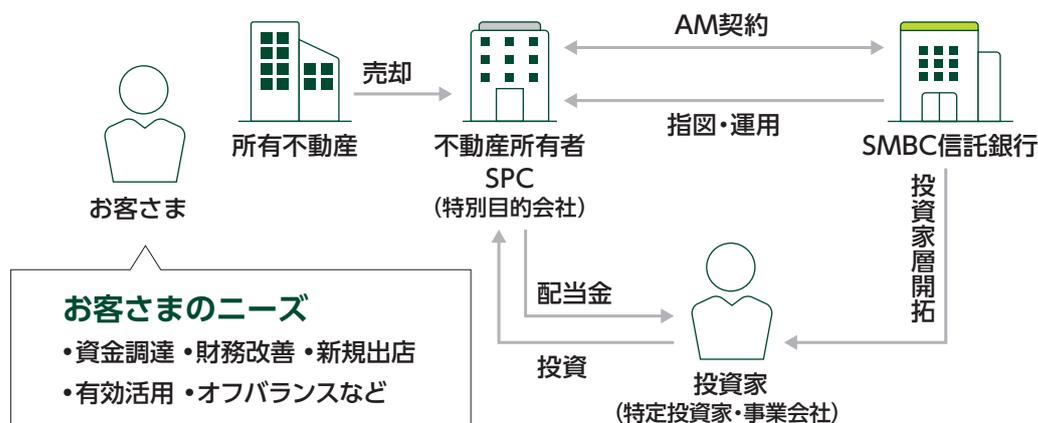
お客さまが保有する不動産の信託受託ニーズにお応えいたします。



アセットマネジメント (AM) 業務

お客さまの不動産への投資運用ニーズにお応えいたします。

物件の購入、保有期間中の運用、最終的な売却まで全てのステージで投資判断に必要なサポートやサービスをご提供いたします(助言を含む)。



ご提供サービスとその特徴

水族館ビジネスを通じた地方創生

地方創生を注力分野の一つと位置づけ、水族館ビジネスを通じて地域活性化に貢献しております。2020年4月に四国水族館（香川県宇多津町）、2021年10月に神戸ポートミュージアム内に劇場型アクアリウム「átoa（アトア）」、2022年4月に静岡駅前の既存百貨店内に「スマートアクアリウム静岡」をオープンしました。

当行では、アセットマネジメント業務を通じて施設の開発・運営・管理に携わっております。



四国水族館



átoa



スマートアクアリウム静岡

サステナブルバリューアップファンド

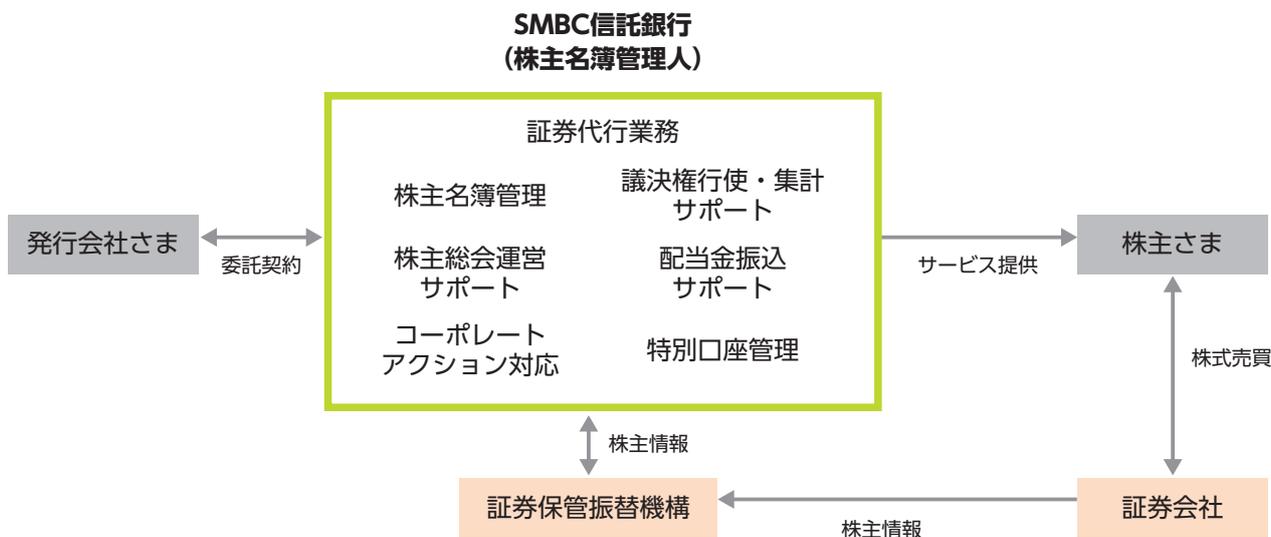
2021年2月、三井住友銀行と協働し、「サステナブルバリューアップファンド1号投資事業有限責任組合」を立ち上げ既に2物件への投資を実行済です。築年数が経過した不動産を中心に投資を行い、空調施設を最新設備に更新することで省エネを実現するなど、積極的な改修工事を実施中です。これにより投資不動産の価値向上による国内不動産ストックの良質化、および環境負荷の低減に貢献してまいります。

証券代行業務のご案内

概要

- 株主名簿管理人業務^(※)
- 株式上場に向けた体制整備サポート
- 株主総会運営サポート
- コーポレートアクションに関する事務サポート

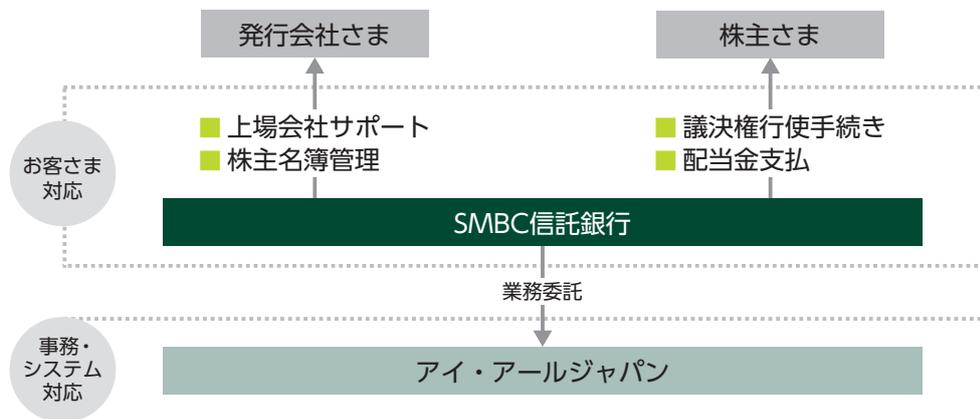
(※) 上場会社は金融商品取引所(証券取引所)の規程により、株主名簿管理人へ株式事務の委託が義務づけられています



強み

- 迅速な事務処理体制
 - ～ 基準日から原則として3営業日後に全株主名簿をご提供
 - ～ 四半期毎の株主名簿作成により、株主動向の早期把握が可能
- 定額制の事務手数料体制
 - ～ 「株主数」「配当回数」に基づいて年間の事務手数料が確定するシンプルな「定額制」を採用

● 迅速な事務処理体制



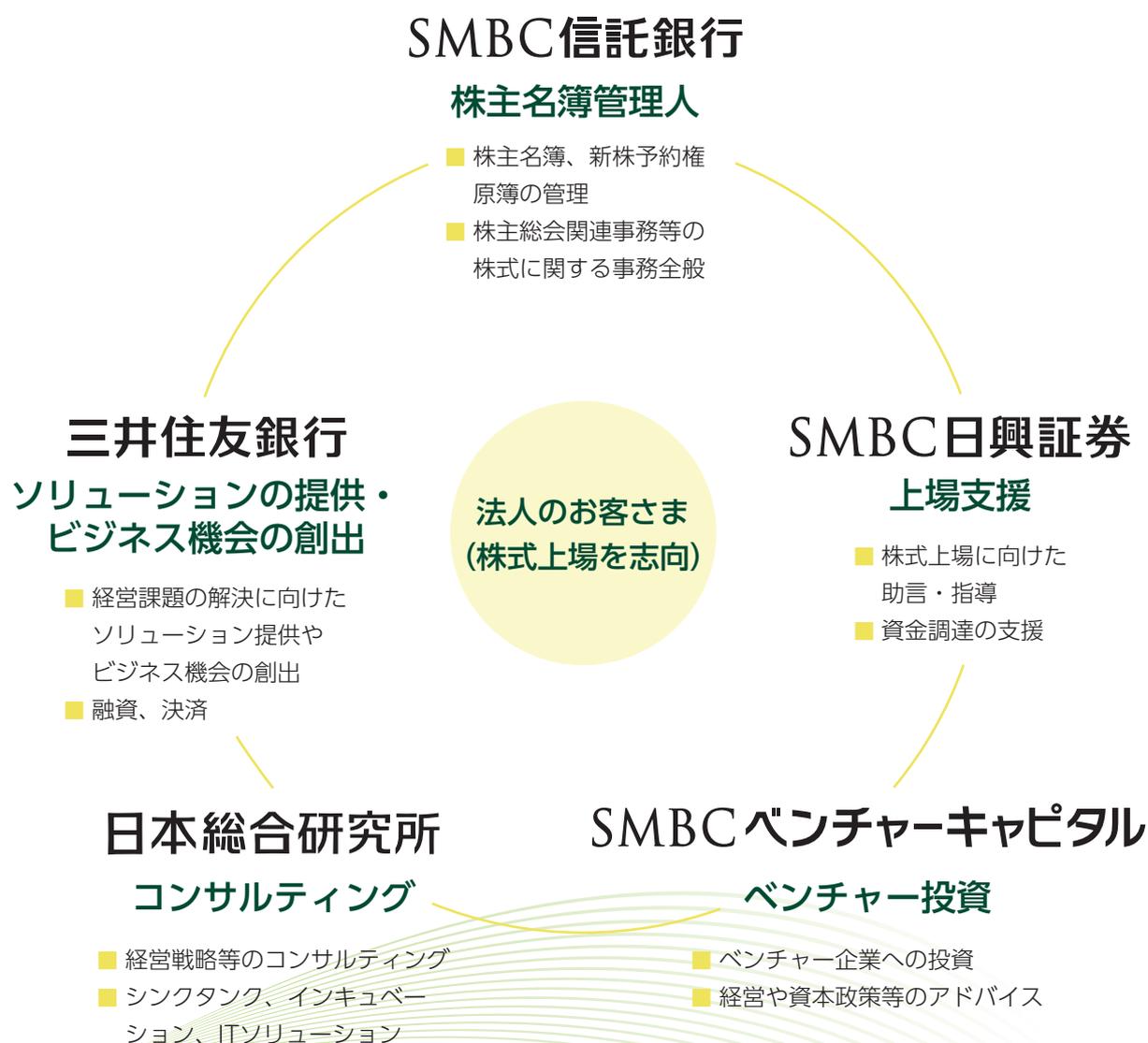
ご提供サービスとその特徴

サポート内容

- 株式上場に向けた、定款変更等の必要な株式関連の手続をサポート
- 株主総会運営
 - ～株主総会のリハーサル、議決権集計等をサポート
- コーポレートアクションに関する事務手続き
 - ～増資・株式分割・新株予約権の発行等を実施する際、必要な雛形のご提示等、実務を適切にサポート

SMBCグループ連携での新規上場支援

SMBCグループの総合力とネットワークを通じて、新規上場を目指すお客さま (IPO志向先) のニーズに対応したソリューションを提供しお客さまの持続的な成長をサポート



事業の概況

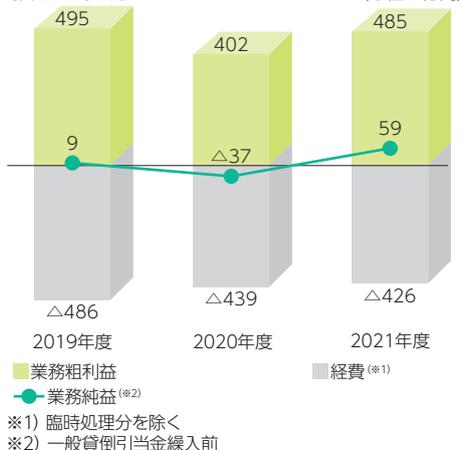
当行の2021年度の営業の概況をご報告申し上げます。

経済金融環境

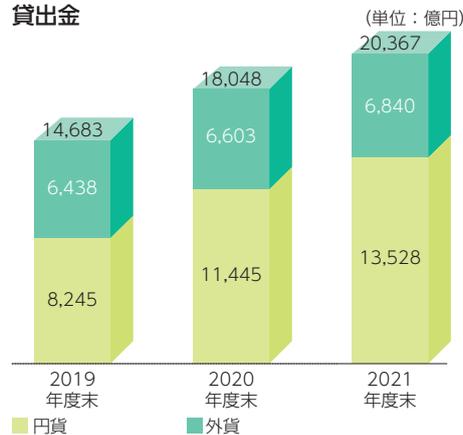
当期の経済情勢を顧みますと、新型コロナウイルスワクチン接種の進展に伴う経済再開の動きが世界的に広がりましたが、昨年11月以降、各国で新型コロナウイルスオミクロン株の感染が猛威を振りました。厳格な経済活動制限には至らなかったものの、今年に入って景気回復の勢いが弱まりました。さらに、ロシアがウクライナへの侵攻を開始したことで、同国に対して経済金融制裁が科され、景気の先行きに不透明感が強まりました。また、原材料価格高騰や人手不足、供給網の混乱などの影響による物価上昇圧力が継続し、金融引き締め動き出す国が増えました。

金融情勢では、良好な企業決算が株価を下支えした一方、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し経済活動制限が強まるとの警戒感から、株価は高値圏で高下する展開が続きました。今年に入り米国の金融引き締めに対する懸念が一段と強まったほか、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて地政学リスクが高まり、下落基調に転じました。米国では、インフレ抑制を優先する姿勢に明確に転じ、金融引き締め加速への思惑が強まったことで長期金利が大きく上昇。日本の長期金利もこれにつれて上昇基調を強めました。日銀が金融緩和を維持する姿勢を堅持したことで上昇幅は限定されました。こうしたなか、日米金利差の拡大が意識され、昨年中は115円前後で推移していたドル円相場は、今年に入り一時125円台まで上昇しました。

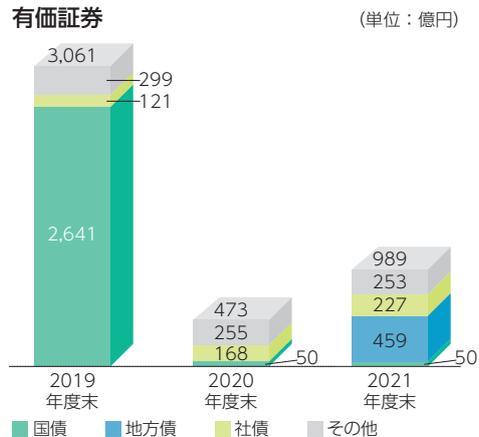
損益の状況

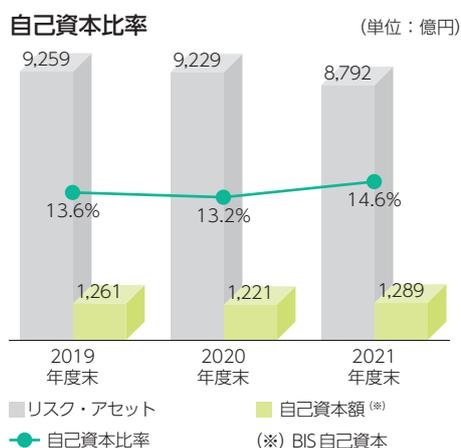
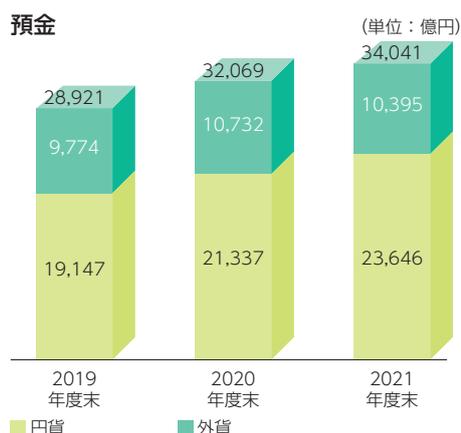


貸出金



有価証券





業績と財務状況

損益の状況

業務粗利益は、不動産仲介手数料が過去最高益を更新するなど、役務取引等収益が増加したことが主因となり、前年度比83億円増益の485億円となりました。

営業経費(臨時処理分を除く)は、経営基盤改革の進捗等により、同13億円減少の426億円となりました。

以上の結果、2021年度の業務純益は、同96億円増益の59億円となりました。

貸出金

貸出金の残高は、日本国政府向けの貸出金が増加したことなどにより、前年度末比2,319億円増加し、2兆367億円となりました。

有価証券

有価証券は、地方債を新たに購入したことなどにより、前年度末比516億円増加の989億円となりました。内訳は、国債が50億円、地方債が459億円、社債が227億円、その他が253億円であります。

預金

円預金は、前年度末比2,309億円増加の2兆3,646億円となりました。外貨預金は、ドル高の環境下、円預金へのシフトから、外貨預金全体の円換算額は同337億円減少の1兆395億円となりました。円預金を含めた預金全体では同1,972億円増加の3兆4,041億円となりました。

自己資本比率

自己資本の額は、当期純損失計上の一方で、自己資本の控除項目である無形固定資産が減少したこと等により、前年度末比68億円増加の1,289億円となりました。リスク・アセットは、外貨建貸出金のリスク・アセットが減少したことを主因に、同437億円減少の8,792億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、同1.4%上昇の14.6%となりました。

(注) 記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。